

第十八卷 天保十二年（一八四二）～天保十五年（一八四四）

天保二辛丑年

一	正月 四日	江戸表の生活益々逼迫し対応に苦慮す。	一二	五月 朔日	森岡民部等一七名の御役替あり。
二	〃	柳島御隠所の日常飯事に事欠くの噂あり。	一三	六月 一九日	藤代村など津軽一帯出穂す。
三	正月 二七日	炭焼き子への賃不払いが続く炭の不足となる。	一四	七月 小朔日	添田有方等一八名の御役替あり。
四	閏正月 一日	貴田十郎右衛門等一〇名の御役替あり。	一五	七月 二八日	三上喜左衛門等二二名の御役替あり。
五	閏正月 二二日	赤坂村宇野兵助当作の評定をいう。	一六	八月 一五日	八幡宮御輿出る。
六	閏正月 二五日	米橋行蔵等六名の役替あり。	一七	一〇月 晦日	金木御蔵焼失する。
七	閏正月 二〇日	津軽主水等七名の御役替あり。	一八	一二月 小朔日	宇佐美主税等四名御役替あり。
八	三月 二日	津軽多膳死去につき鳴物停止の達でる。	一九	一二月 六日	元寺町の長吉御仕置となる。
九	三月 六日	黒石候弘前へ御出宿泊す。	二〇	一二月 二八日	神直八等一九名の御役替あり。
一〇	四月 二二日	屋形様御下向途中の大館附近にて不穏な動きあり。	二一	一二月 二八日	大吹雪のため人馬の怪我あり。
一一	四月 二日	屋形様四月二八日江戸御発駕	二二	正月 一日	桜庭兵右衛門等五名の御役替あり。
			二三	正月 一三日	大筒の試射中、砲身碎け怪我人でる。
			二四	正月 二八日	未曾の大吹雪、倒死多くでる。

天保二三壬寅年

の旨の達来る。

二五	二月 七日	鯔ヶ沢問屋、塩屋忠左衛門法 度破る。	三七	五月 一六日	江戸乞喰頭専左衛門のこと。
二六	二月 二〇日	黒石用人、江戸表の動き書面 にて差出す。	三八	六月 一三日	土用の入、天気悪く稲漸く蠅 の尻の如くという。
二七	二月 二二日	樽沢村より古銭みつかる。	三九	正月 一五日	登城の服装について新に触書 でる。
二八	三月 七日	鯔ヶ沢御蔵焼失米一二〇〇〇 俵焼失す。	四〇	三月 七日	工藤源左衛門等六名の御役替 あり。
二九	三月 一二日	高安角之亟の追膳能に三〇〇 〇余人集まる。	四一	三月 七日	小笠原久蔵等の屋敷替もあり。
三〇	三月 一五日	天気よく凌ぎやすい日々であ るが物価高く人々困まる。	四二	四月 七日	登城についての規則改正あり。
三一	三月 二五日	大阪よりの借用金二〇〇〇両 今まだ到着せず。	四三	七月 朔日	天候不順につき稲作の見通し つかず。
三二	三月 二八日	江戸表の浪費多くその対応に 苦慮す。	四四	七月 一六日	暑さもどり稲生育順調になる。
三三	四月 一〇日	高屋主計等一三名の御役替あ り。	四五	七月 二三日	氣候定まり早稲晩稲共順調に 屈む。
三四	四月 一三日	御供人数を減しての淋しき御 出立となる。	四六	八月 二一日	御家中へ枳、木舞など御貸付 あり。
三五	四月 晦日	天候すぐれず重着しても寒し。 田植など稀なり。	四七	一〇月 一八日	御家中より借上げについて御 返しの分きまる。
三六	五月 朔日	天候不順なのは政事にありと の落書多くでる。	四八	十二月 二八日	屋形様順承公と改める。
			四九	正月 元日	登城挨拶時に綿服者大半を占 める。
			五〇	正月 九日	新寺町路上で喧嘩騒ぎあり。

五一	正月一八日	雪降りはじめ真冬に向う。	六四	五月三日	屋形様備立御高覧の折り大雨となり難渋す。
五二	正月二六日	水木村の富家彦左衛門と酒屋開業のこと。	六五	五月三日	小山内大衛捕縛される。
五三	二月朔日	屋形様侍従昇進の件についての報、国元へ届かず。	六六	五月晦日	父馬暴れ死人出る。
五四	二月一九日	毎夜六ツ半より南の方に不思議なる雲でる。	六七	六月一〇日	津軽金蔵等三名御詮義をうける。
五五	二月二一日	岩木川川原にのどに釘打たれたる男の人形あり。	六八	六月二三日	氣候悪く雨降らず、岩木川渇水となる。
五六	三月一三日	松前公叔父、内蔵と申す者の風評立つ。	六九	七月八日	黒石候暑中見舞に来る。渇水続く。
五七	三月一六日	異国出没につき沿岸防備の対応に苦慮す。	七〇	七月二一日	大雨となり人々安堵す。米価も下がる。
五八	三月二〇日	松平越中守様、江戸邸焼失死者多しという。	七一	七月二六日	屋形様、黒石候と共に若駒を見る。
五九	四月三日	当年は南風つよく往来難渋す。	七二	八月朔日	川越吉左衛門、今年の收穫米を献上する。
六〇	〃	津軽武之助様御叱を蒙むること。	七三	八月九日	本日二一〇日、早稲晩稻共屈む。
六一	四月六日	屋形様江戸より御着城、家中出迎えず。	七四	八月二八日	屋形様外ヶ浜沿岸御見分す。
六二	四月二一日	執政高倉駿河守殿死去す。	七五	九月二〇日	森岡民部不調法につき御役御免となる。
六三	五月朔日	豊嶋孫次郎等一名御役替あり。	七六	九月二二日	江戸へ八〇〇両送る。借財返済の一部に当てる。

七七	一〇月 朔日	津輕多録等七名の御役替あり。	九〇	一二月二八日	小者の配置替ありしが嘆く者多くあり。
七八	一〇月一〇日	大風雨のため方々で被害でる。			
七九	一〇月二四日	江戸屋敷にも被害でる。			
		雪降り早く野仕舞おいつかず人々あわてる。	九一	正 月 一 日	者頭以上の御役替あり。
八〇	一 月 朔日	石岡三太夫等一〇名の御役替あり。	九二	正 月 一 二 日	屋形様薬王院へ参詣す。
			九三	正 月 二 五 日	拾った百両と紛失した百両をめぐって詮議す。
八一	一 月 二 日	御借上についての御返済方法に苦慮する。	九四	二 月 二 〇 日	ニセ銭鑄造者探索のため公儀より人来る。
八二	一 月 一 日	高令者を慰勞す。	九五	三 月 朔 日	酔ヶ湯にて雪の下敷となり六人死亡す。
八三	一 月 一 七 日	突然の強風に方々に被害でる。			
八四	一 月 一 九 日	御収納への代金支払いについて不審の噂立つ。	九六	三 月 八 日	ニセ金鑄造者公儀よりの探索をのがれ逃亡す。
八五	一 月 二 一 日	秋田様より昨年の蔵焼失時の返礼を受ける。	九七	三 月 一 〇 日	石岡三太夫、失火原因探索中妨害者を成敗す。
八六	一 月 二 五 日	廻間宇作等一四名の御役替あり。	九八	三 月 二 七 日	禁酒の誓を破り大暴れし召捕られる。
八七	〃	財政逼迫につき御役料などの検討行なわれる。	九九	四 月 三 日	小嶋嘉兵衛倅ニセ金の件にて捕まる。
八八	一 二 月 九 日	瑞祥院様御位牌盗し者仕置される。	一〇〇	四 月 一 八 日	ニセ金づくりの者江戸へ送られる。
八九	一 二 月 二 二 日	御廻船の船主共不正を働き人牢申付られる。	一〇一	四 月 一 〇 日	岩木川増水、大鰐一帯大被害となる。

一〇二 四月一五日

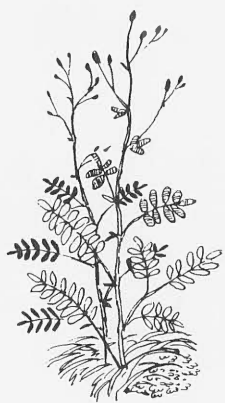
水野越前守様再び老中の座につき俟約令を出す。

一〇三 四月二一日

屋形様江戸へ向け御発駕す。

一〇四 七月一八日

早稲、晩稲共に成育順調にて人々安堵す。



025.8

解題書目第30集

青森県立図書館編

青森 青森県立図書館 2001 (平成13). 9

164p 21cm

内容：本藩明実録・本藩明実集 3

平成13年9月1日 印刷

平成13年9月4日 発行

編集・発行 青森県立図書館

青森市荒川字藤戸119-7

TEL. 017-739-4211(代)

FAX. 017-739-8353

印刷 高金印刷(株)

青森市千刈2丁目1-31

TEL. 017-781-2244

FAX. 017-781-2509

「青森県立図書館解題書目」刊行一覧

(第22集までは品切れです)

第1集	津 軽 史	昭和46年10月21日	発行
第2集	官省指令留・官省願伺届	昭和47年3月10日	発行
第3集	滝 屋 文 書	昭和48年3月10日	発行
第4集	木 村 文 書	昭和48年11月25日	発行
第5集	多 門 院 文 書	昭和50年2月1日	発行
第6集	五 家 文 書	昭和51年3月31日	発行
第7集	萬 日 記 抄 一	昭和52年3月25日	発行
第8集	萬 日 記 抄 二	昭和52年7月28日	発行
第9集	萬 日 記 抄 三	昭和53年3月25日	発行
第10集	津軽史解説目次抄一	昭和54年6月25日	発行
第11集	津軽史解説目次抄二	昭和56年3月5日	発行
第12集	津軽史解説目次抄三	昭和57年3月15日	発行
第13集	津軽史解説目次抄四	昭和58年3月15日	発行
第14集	津軽史解説目次抄五	昭和59年3月25日	発行
第15集	萬 日 記 抄 四	昭和60年6月24日	発行
第16集	萬 日 記 抄 五	昭和61年6月26日	発行
第17集	萬 日 記 抄 六	昭和62年6月20日	発行
第18集	大 津 屋 文 書 一	平成元年1月31日	発行
第19集	大 津 屋 文 書 二	平成元年12月15日	発行
第20集	松 井 四 郎 兵 衛 留 書	平成3年1月18日	発行
第21集	伊 紀 農 松 原 一	平成4年3月31日	発行
第22集	伊 紀 農 松 原 二	平成4年10月30日	発行
第23集	与 之 遠 美 叢 遺 一	平成7年3月31日	発行
第24集	与 之 遠 美 叢 遺 二	平成8年1月31日	発行
第25集	与 之 遠 美 叢 遺 三	平成8年11月15日	発行
第26集	与 之 遠 美 叢 遺 四	平成9年9月10日	発行
第27集	与 之 遠 美 叢 遺 五	平成10年9月3日	発行
第28集	本藩明実録・本藩明実集一	平成11年10月1日	発行
第29集	本藩明実録・本藩明実集二	平成12年9月1日	発行
第30集	本藩明実録・本藩明実集三	平成13年9月4日	発行

